湖南高校だより

体験、成長に繋ぐ

そばの収穫

十月二十日（金）、「蕎麦プロジェクト」の一環として、そばの収穫を行いました。今回も講師として中野生産組合の桑名秀一郎さん、福良地区認定農業者の阿部敏満さんに御指導いただきました。今年は目標である収穫量百キロ達成のため、地面にそばの実が落ちないよう気を配り、一つ一つ丁寧に手刈りで収穫しました。やはり難しいのは稲わらでそばの穂を結わう作業で、初めての経験となる一年生は先生方や先輩たちに教えてもらいながら少しずつ慣れていき、作業終盤には二・三年生に負けないくらいスムーズに結わえるようになりました。収穫されたそばは脱穀・選別作業を終え、十二月の収穫祭で美味しくいただきます。目標達成なるか、御期待ください。

合同稲刈り

そばの収穫を終え、午後から湖南高校実習田にて稲刈りを行いました。田植えを行った五月と同様に、埼玉県の城北埼玉高等学校の一年生が来校し、二校合同で収穫を行いました。はじめに、講師の阿部敏満さんより稲の刈り方および束の縛り方を教えていただきました。一年生にとっては初めての稲刈りでしたが、この日までに合同での田植えやオンラインでの交流会を経ていたため、両校の生徒は打ち解けた様子で楽しく真剣に稲刈りに取り組んでいました。稲刈り後、本校の一年生による湖南高校の紹介や班別交流会が行われ、さらに親睦が深まりました。

体育祭

十月三日（火）、体育祭を行いました。午前は屋内競技として、ダンス発表、大縄跳び、ジェスチャーゲームを行いました。特にダンス発表は、振り付け・道具・衣装など、それぞれのグループの個性が光る内容で、会場は大いに盛りあがりました。午後は屋外競技として、全力！奉仕活動（草むしり対決）、障害物競走、学年対抗リレーが行われました。リレーには教員チームも参加し、真剣勝負が繰り広げられました。総合優勝に輝いたのは、三学年！全力で体を動かし、体育祭は晴れやかな気持ちで幕を閉じました。

発行
福島県立
湖南高等学校
校長野口智行

校訓

誠実勤勉
志高聡明
自律協同

十月大会結果

九月二十一日（木）から四日間、鹿児島県で開催された特別国民体育大会に、本校三年生の藤原早稀さん（郡山一中出身）が女子舵手付クォドルプル福島県代表メンバーとして出場しました。長時間の車移動、フェリーでの就寝、大会への緊張感も含め慣れないことも多くありましたが、高校最後のレースに全力でのぞむことができました。結果は準決勝第三位（タイム順全体九位）。入賞こそできませんでしたが、全国の強豪たちとぶつかり合い、素晴らしいレースを繰り広げてくれました。

また、十月二十八日（木）から二日間、いわき市にて開催された福島県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技団体戦に、本校ソフトテニス部が出場しました。前日からの現地入りや大会会場での公式練習など初めての経験ばかりでした。結果は二回戦敗退でしたが、県大会で一勝をあげられたことと強豪校の作る雰囲気を肌で感じられたことは大きな収穫となりました。合同チームとして戦ってくれた帝京安積高校の仲間の力や、これまで御支援くださった方々のおかげで得られたこの経験を今後の活動に活かしていきます。

修学旅行

十月十日（火）、二年生が三泊四日の修学旅行に出発しました。一日目は、明石海峡大橋、淡路島、大鳴門橋を巡り、香川では中野うどん学校でうどん作りを体験し、金刀比羅宮を参拝しました。そば打ちの経験のおかげか、講師の先生からは「湖南高校生のうどん作りは筋が良い」と褒められました。二日目は、クルーズ船で鳴門海峡の渦潮を見学。思わず言葉を失ってしまうほど迫力満点の光景でした。大塚国際美術館では、約四キロにおよぶ回廊に飾られた千点以上の西洋名画を鑑賞しました。夕方からは異国文化溢れる神戸の街並みを自由散策し、夕食には中華街で本格中華料理を堪能しました。三日目は、ホテルのバイキングで朝食後、修学旅行のメインイベントである班別自主研修に出発。事前に立てた計画に従ってそれぞれが京都・大阪の名所を巡り、仲間との絆を深めました。伏見稲荷神社や清水寺の美しい景色は生涯忘れることのない思い出になることでしょう。最終日は、大阪中央卸売市場を見学し、競りを体験しました。お昼過ぎには、大人も含めて全員食い倒れている状態でしたが、余すことなく大阪の味を堪能しました。無事に福島へ帰着しました。修学旅行での経験と学びは、今後の生活の中で生かされていくことでしょう。

防災教育

十月十二日（木）、一・三年生が防災教育（秋の遠足）で、東日本大震災・原子力災害伝承館に行ってきました。生徒は、展示の見学や語り部講話で学びを深め、それぞれにメモや写真をとりながら震災当時の様子に思いを馳せていました。夕方には、福島県郡山自然の家に移動し、伝承館見学の振り返りを行いました。二日目は、防災ワークショップとして竹ひごタワー作りに挑戦しました。これは「限られた素材のみで制限時間内に竹ひごタワーを作り高さを競う」ものです。生徒からは「皆で協力して一つの物を作るのが楽しかった」といった感想がありました。その後、体育館でキンボールを使った大玉転がしやバレーボールを行いました。生徒はこれらの活動を通し、チームワークの大切さを学びました。最後は屋外でのカレー作りです。野外炊飯は炊き出しの疑似体験となり、充実した二日間となりました。

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡ください。

湖南高校まるわかりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。

編集後記

十一月五日(日)、第六十九回湖南町文化祭に本校生徒が「そば」「ボート」「六次化商品の販売コラボ」「簿記選択者の販売実習」「ダンス発表」の活動で参加しました。販売については、全ての商品が完売。ボート部のエルゴ体験や有志によるダンス発表も好評でした。今後も、コミュニティ・スクールとして、地域の皆さんと町を盛り上げていきたいと思います。楽しい一日をありがとうございました。猪苗代子